

いじめ事案の指導の流れ

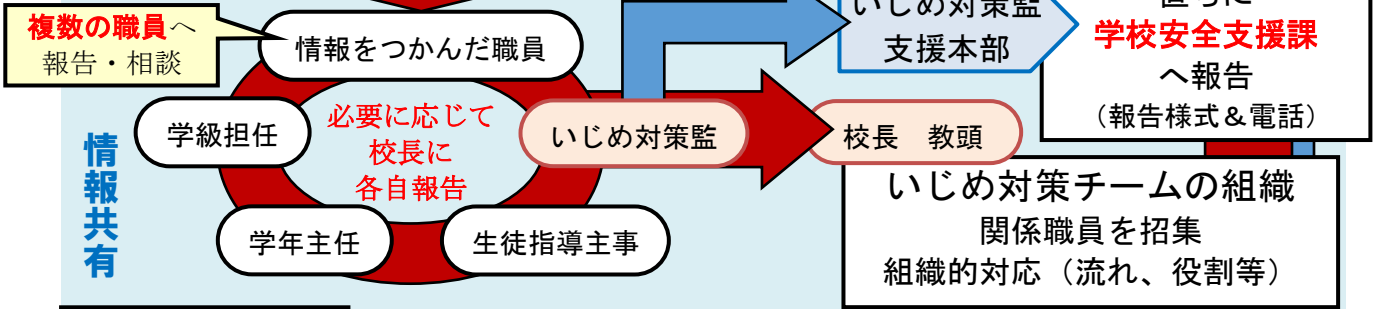
岐阜市立 華陽小学校

令和6年3月改定

いじめの疑いのある情報

さ 最悪を想定して
し 慎重に
す 素早く
せ 誠意をもって
そ 組織的に対応する

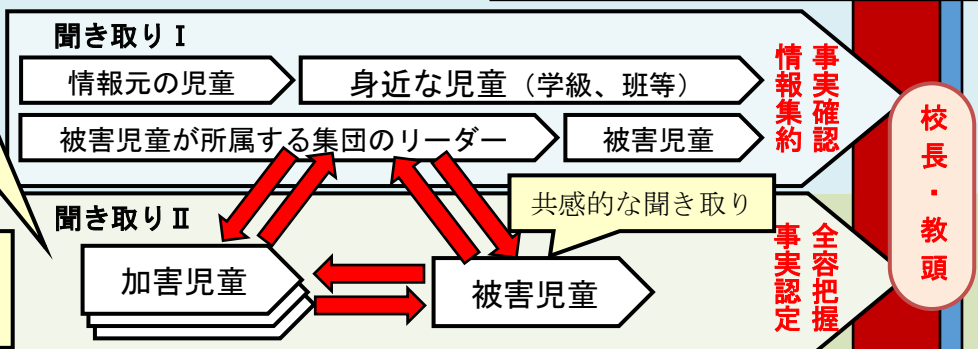
教師の目撃(日頃の行動観察) 本人からの訴え
地域からの情報 保護者からの訴え
児童生徒等からの情報 アンケート **ここタン** 等



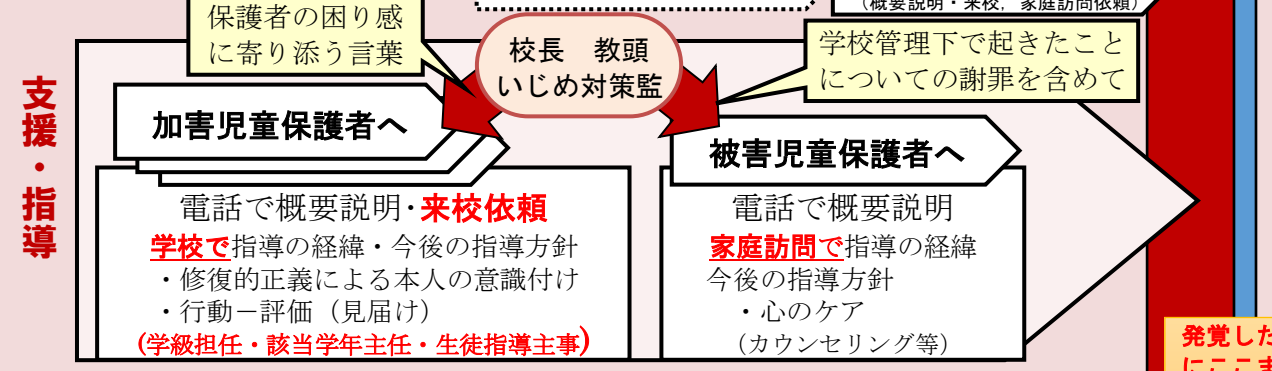
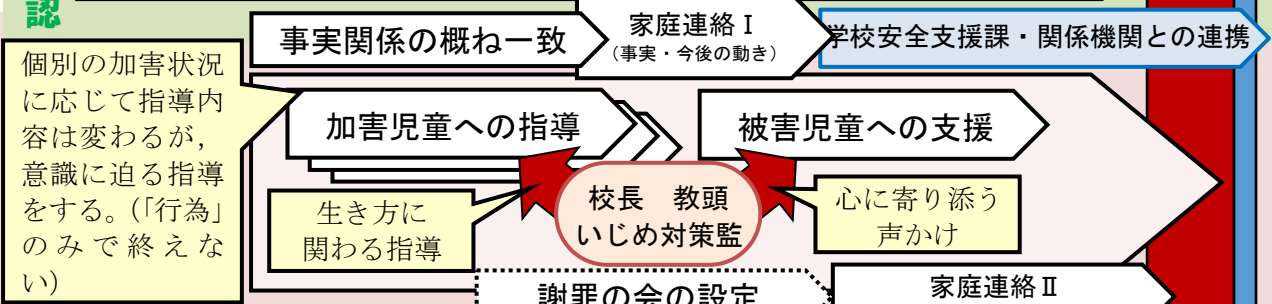
最優先で対応
(授業自習可)
・複数(2名以上)の チームでの聞き取り
・人手不足の場合、 別室待機(職員配置)

事実確認

すり合わせを しながら **何度でも確認**

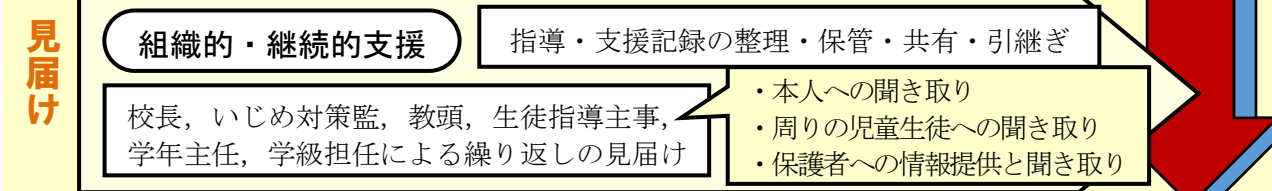


下校時刻までに指導が終わらない場合は 学担か学主が家庭へ必ず連絡を入れる。



謝罪の会の設定 (学校立会い原則) 学校安全支援課への報告 関係機関との連携

発覚した日のうちにここまでの指導を始める。



いじめの解消の基本的な考え方：①いじめに係る行為が止んでいること。(少なくとも3か月)
②被害児童(保護者)が心身の苦痛を感じていないこと。(面談等で確認)